

ご利用の前に必ずお読みください

oppo

OPPO Find X2 Pro

OPG01

ご利用にあたっての注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、『ご利用にあたっての注意事項』（本書）と『取扱説明書 詳細版』に記載の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しく使用ください。
故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を以下のauホームページからご確認ください。
https://www.au.com/trouble-check/



auホームページ掲載の「取扱説明書 詳細版」の「故障とお考えになる前にもあわせてご覧ください」。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、5G/LTE/WiMAX 2+ /UMTS/GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。）
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- ・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- ・海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・『取扱説明書 詳細版』、『クイックスタートガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、照明時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
 - ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- ※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
- 発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：オッポジャパン株式会社
製造元：Guangdong OPPO Mobile Telecommunications Corporation Ltd.
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
 - 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
 - OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
 - 本書の内容につきましても万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

各種暗証番号 / PINコードについて

各種暗証番号について

- ・本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

- 第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要素を設定する場合にも入力が必要となります。
- PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4〜8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
- 「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご利用ください。

■ PINロック解除コード

- PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
- ・PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - ・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定していただけます。
 - ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
 - ・「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
 - ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
- ※ 無線LAN（Wi-Fi®）の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- ・本製品に掲載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「取扱説明書 詳細版」、『クイックスタートガイド』、『ご利用にあたっての注意事項』（本書）に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

- 本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
- 確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可」/「許可しない」をタップしてください。
- ・例：「レコーダー」を初めて起動した場合
- ① ホーム画面で「ツール」→「レコーダー」
 - ② [同意する]
- 「デバイス内の写真、メディア、ファイルへのアクセスに「レコーダー」に許可しますか?」の画面が表示されます。
- ③ [許可]
 - ④ 画面の指示に従って操作

・ memo

- 許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で[設定]→[プライバシー]→[アプリの権限]→[アプリ]→設定を変更するアプリをタップ→変更する権限をタップ→画面の指示に従って操作します。
- アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認ください。画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取らね交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音や周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行人の邪魔にならない場所で使しましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・通員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替え、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

